

新庁舎建設事業の円滑な推進に関する要望書

令和7（2025）年11月21日

那須塩原市議会

新庁舎建設事業の円滑な推進に関する要望書

本市が最重要課題の一つとして進める新庁舎建設事業につきましては、那須塩原駅周辺整備の核となる事業として、その円滑かつ早期の実現が市民にとって強く望まれています。

しかしながら、資材高騰等を要因とした入札不調を受け、事業の長期化とコスト増加のリスクが高まっている現状は極めて憂慮すべき事態です。

つきましては、新庁舎建設事業を確実に推進するため、下記の事項について特段の御配慮と御対応を強く要望いたします。

記

1. 事業のスピード感をもった推進とコスト管理の徹底

新庁舎建設は、那須塩原駅周辺整備の核となる事業であり、地域全体の活性化に不可欠であるため、スピード感をもって事業を推進されるよう求めます。建設資材費や労務費の市況は依然として上昇傾向にあり、時間が経過するほど工事費が増額するリスクがあることから、再公告に向けた手続きを一日でも早く実行し、再不調を回避するための万全な対策を講じることを要望します。

2. 入札条件の維持と地元企業の確実な参加促進

再公告にあたっては、設計内容に変更がなく、事業費のみの変更となることから、基本的には当初の公告内容を変更しない方針とすることを求めます。また、複数の地元企業が建設事業に関わることで、市民の誇りと愛される庁舎となり、将来にわたる適正な維持管理にも繋がることから、特定共同企業体（JV）の組成基準に関しては、地元企業を複数者参加できる仕組みを維持することを要望します。

3. 物価スライド条項の適切な適用

建設工事の不確実な市況変動に対応するため、契約締結にあたっては、物価スライドを考慮した契約内容・契約条項を適切に設定することを要望します。

4. 将来を見据えた起債の適切な実行

事業費の増額に伴い、財源の確保が必須となることから、起債（市債）の活用については、将来世代への負担を最小限に抑えるよう適切に実行すること。また、それに伴い従来の市民サービスが低下することのないよう努めることを要望します。

令和7年11月21日

那須塩原市長 渡辺 美知太郎 様

那須塩原市議会 議長 齊藤 誠之